（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	第二放課後デイサービスみふね			
○保護者評価実施期間	令和６年　１２月　９日	～	令和6年　12月　21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	42	（回答者数）	40
○従業者評価実施期間	令和6年　12月　9日	～	令和6年　12月　21日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　2月　3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動遊び、認知を高める遊び、SST、創作活動を中心とした活動を行っており、５領域に働きかけながら支援を行っている。	・職員間で活動内容を話し合い、活動の設定を行っている。	・子どものニーズややりたいことを聞き取りし、活動に反映できるようにする。
2	・臨床心理士が定期的に参加し、支援方法の共有や子どものケース検討会議等を開き、支援方法の共通理解を図るようにしている。	・月に１度の定期的なケース会議を開き、子どもの状態や支援方針を共通理解できるように取り組んでいる。	・引き続き継続しながら、支援に関する共通理解を図る。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・連絡帳のチェック不足	・連絡帳の確認不足 ・活動時間の設定	・活動を行う時間を早める等して、連絡帳を記入できる時間を確保する。 ・連絡帳の担当（児発管）を決め、各自の記入をチェックした後返却するようしている。
2	・職員間の伝達ミスや連携不足（忘れ物や申し送りに関すること）	・忘れ物確認 ・職員同士の声かけ ・保護者との連絡	・療育室内の整理整頓、環境調整。 ・降園時に棚を必ず確認し、忘れ物がないか確認するようにする。 ・保護者との連絡用LINEを児発管が管理し、窓口を一本化。当日の申し送りを確認して必要に応じて個別にLINEで連絡を行うようにしている。
3			